



# 12月 健康だより



「やけど」は季節に関係なく多発する不慮の事故です。

乳幼児・高齢者は日常生活でやけどを  
起こしやすいので気をつけましょう。

やけどをしたら、まず水で冷やしましょう。



起こしやすいのは・・・

● 通常のやけど

熱湯・熱した油（揚げ物調理）・蒸気などによるやけど。

● 低温やけど

低温の熱源に長時間触れることによるやけど。

（電気毛布・湯たんぽ・電気カーペット・カイロ・こたつ、など）

★それほど熱くないのに同じ場所が長時間触れていても

重症のやけどを起こすことがあるので注意しましょう。



おうきゆうてあて

## 【応急手当】

※ 手足などは水道水をかけ続けます。

顔や頭はシャワーなどで水をかけ続け、顔で流水が  
できない部分は、氷水で冷やしたタオルを当てます。

耳は保冷剤や氷を包んだ冷たいタオルをこまめに替えて  
冷やします。

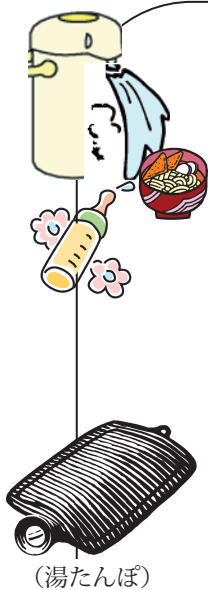
衣服の上からやけどをした時は・・・  
衣服の上から水のシャワーをかけましょう。

（衣服を脱がす時に皮膚がはがれてしまうことがあります。）

### ▲ 注意 ▲

冷却シートは皮膚に張り付いてしまいます。

やけど部分に直接貼るのはやめましょう。



# とき やけどをした時は、どうする？！



Ⅰ度  
水ぶくれはなく、  
赤くヒリヒリ感あり。

【浅い】  
赤くなり痛みが強く、  
水ぶくれができる。

【深い】  
赤く腫れ水ぶくれができるが、  
痛みが軽く、  
水ぶくれの下の皮膚が白く  
なっている。

傷あとが残らない

傷あとが残る

家で様子を  
見ましょう

ひとつでも当てはまる時は  
直ぐ受診

- 顔面、関節部分、手のひらや陰部のやけど
- 水ぶくれができ、痛みが強い。

Ⅲ度  
(重症)

【皮下組織に及ぶやけど】  
痛みを感じなくなり、  
肌の表面は壊死していることもある。  
やけどの表面は白く乾燥し  
水ぶくれは出来ません。



ひとつでも当てはまる時は  
救急車を呼ぶ

- こどもの手のひらより広い範囲のやけど
- やけどの部分が白、又は黒くなっている。